

しもつがの「まなびの WA！」

令和8年1月21日

「WA！」には、輪、和、話、環などの意味合いを込め、管内の学校や教職員のつながり、温かい交流、情報交換の広がりなどをイメージしています。

発行：栃木県教育委員会事務局下都賀教育事務所

第3号

学校訪問、大変お世話になりました

令和7年度も、共同訪問をはじめ、要請訪問や「出前講座」等、多くの学校を訪問させていただきました。関係した学校の先生方には大変お世話になりました。

共同訪問は、今年度管内の18校に伺いました。真剣な表情で学習に取り組む子どもたち。常に子どもたちに寄り添い、丁寧に、そして粘り強く指導を続ける先生方。学校全体に温かな雰囲気が醸成されました。今号では、各学校の取組を基に、是非今後の御指導の参考にしていただきたい点を中心に、紹介します。



学ぶ意欲を高める授業づくり～導入やねらいの示し方～

毎日の授業づくり、どのように進めていますか？

「子どもたちの学ぶ意欲を高めたい」と、日々の教材研究に取り組んでいる先生方も多いのではないでしょうか。ここでは、「導入やねらいの示し方」について考えてみたいと思います。

導入やねらいの示し方のポイント

①学ぶ意欲を高められるよう、児童生徒の言葉や考えを引き出しながらねらいを設定しましょう。

- 教師が一方的にねらいを示すだけにならないこと
- 教材との出会い方を工夫したり、前時の学習の振り返りを生かしたりしながら、児童生徒とやり取りすること

ポイント

※児童生徒から出たキーワードや考え方を取り上げ、整理する方法も考えられる

②児童生徒とねらいを共有し、児童生徒が課題を自分事として捉えられるようにしましょう。

- ねらいの表現が、児童生徒の実態に合っていること
- 「どのようなことができるようになればよいのか」「どのような学習活動を行うのか」が分かり、学習の見通しをもてるこ
- 学習意欲を刺激する魅力的なものであること

【R7年度版下都賀地区学校教育の重点 ダイジェスト版(裏面)から抜粋】

学校訪問では、前時までの学習を子どもたちと一緒に確認したり、子どもたちの発言を生かしてねらいを設定し、そのねらいを子どもたちと共有したりする授業が多く見られました。こうした授業では、子どもたちが目を輝かせながら課題解決に取り組む姿が大変印象的でした。子どもたちの実態に応じて、是非工夫してみてください。

「意図的、計画的」な学業指導～学校全体で～

学業指導とは、児童生徒一人一人が、社会性や確かな学力を身に付け、自己実現（社会的自立）を図っていくことができるよう、児童生徒の自己指導能力の獲得を支えることを目的として、全ての教職員が全ての児童生徒を対象として、

「学びに向かう集団づくり」と

「子どもが意欲的に取り組む授業づくり」

の相互の関連を意識しながら一体的に進めていく指導・援助のことです。

学校訪問では、「帰属意識の高い学級」を目指して、掲示物のデザインや内容等を工夫しながら居心地のよい環境づくりを行ったり、「コミュニケーション能力を育む授業」を目指して、ペアやグループでの活動を授業のねらいに応じて意図的に取り入れたりしている学校が多く見られました。

【「学業指導の充実に向けて(改訂版)」R7 栃木県教委 P.1 から抜粋】→

【「学業指導の充実に向けて(改訂版)」R7 栃木県教委 P.15 から抜粋】

児童生徒にとってわかりやすい環境づくり

温かみのある友達との関係はもちろん、児童生徒が何をどのようにすればよいのかが分かる環境は、児童生徒の安心感を高め、クラスに居心地のよさを感じるようになります。掲示物や物品の配置、黒板の使い方等を工夫し、児童生徒にとってわかりやすい環境を整備しましょう。

【「わかりやすさ」を高める掲示の例】

- ・ 前方にクラスの目標や時間割等、必要最小限のものを掲示する。
- ・ 後方や側面(廊下側)に掲示する場合には、掲示物の名前(給食当番表、進路状況等)を明示して掲示する。
- ・ 窓際やロッカーの上等に物品を配置する場合には、関連する道具等も同じ場所に配置する。

【授業の中で「わかりやすさ」を高める視点】

- ・ 全体の見通しを伝える
- ・ 指示は短く、明確に伝える
- ・ 言葉だけでなく、視覚的な手がかりも添える



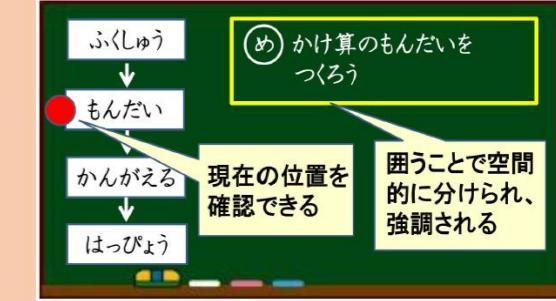
自己実現
(社会的自立)
自己指導能力

・社会的自立の実現
・居心地のよさ
・帰属意識を高める
・互いに高い合意
・一人の実現に貢献する
・コミュニケーション能力を育む

・自信をもたせる
・子どもが意欲的に取り組む授業づくり

学業指導を進める際に参考となる事例が多く掲載されています！

※ 視覚的に配慮した板書の例



是非、御活用ください！

出前講座

学校支援課が今年度から新たに始めた「出前講座」には、多くの学校から申込みをいただき、今年度19回実施させていただきました。各学校の先生方が主体的に参加し、学んでいる姿が大変印象的でした。

次年度も実施予定ですので、是非御活用ください。先生方と一緒に、授業づくりや教育活動の充実について考えていただきたいと思います。

今年度の実施例 学業指導と特別支援教育の視点を生かした「授業づくり」講座 60分

- ・特に、特別支援教育の視点に絞って実施した。
- ・初めに、特別支援教育の視点での授業づくりについて大切にしたいことを説明。(指導主事から)【15分程度】
 - ・その視点や児童生徒の実態を踏まえ、授業でどのような工夫ができるかをグループごとに検討。
 - ・指導主事もグループに入り、一緒に案を出し合い、最後にグループごとに出了意見を共有。

☆児童生徒の実態を踏まえ、様々な指導方法や展開について先生方が主体的に考えていました。

下都賀地区学校教育の重点

今後も、日々の授業や校務分掌等の実践をされる際などには、是非、

「下都賀地区学校教育の重点」を

御活用ください。

下都賀教育事務所 学校支援課 HP

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/m54/shien.html>

